

「令和6年度日本製材技術賞」 表彰式の開催

① 日本製材技術賞及び受賞者の概要

日本製材技術賞は、令和6年度に一般社団法人全国木材組合連合会が創設した表彰制度で、製材の生産向上、品質改善、地域振興等に貢献している製材工場を顕彰するものです。

初年度である今回は161工場から応募があり、生産性や独自性、品質向上の取組、雇用環境の整備等、多岐にわたる製材工場の取組内容が審査された結果、10工場が受賞者に選定されました。



受賞者集合写真

受賞者一覧

◆農林水産大臣賞

グリーンウッドタクミ協同組合(三重県)

◆一般社団法人全国木材組合連合会会長賞

株式会社トーセン(栃木県)
新丹生谷製材協同組合(徳島県)
八幡浜官材協同組合(愛媛県)
瀬戸製材株式会社(大分県)

◆林野庁長官賞

株式会社栃毛木材工業 粕尾工場(栃木県)

◆審査委員会特別賞

株式会社アイタ工業 製材工場(山形県)
ウッドリンク株式会社(富山県)
有限会社倉地製材所(岐阜県)
株式会社木原木材店(円柱材・丸棒材加工センター)(兵庫県)

このうち、農林水産大臣賞と林野庁長官賞の受賞者について、ご紹介します。

農林水産大臣賞 グリーンウッドタクミ協同組合(三重県)

スギ原木の大径化により、芯去り平角の製造及び利用が期待される中、その乾燥が難しいという課題に対して、独自に乾燥技術を確認し、スギ平角の品質向上を実現。

林野庁長官賞 株式会社栃毛木材工業 粕尾工場(栃木県)

素材生産事業者が原木を直材と小曲材に仕分けせずとも価格差なく受け入れる仕組みを構築して、曲がり材からも柱材等を製造。



農林水産大臣賞を受賞した
グリーンウッドタクミ協同組合(三重県)

② 表彰式の開催

「令和6年度日本製材技術賞」の表彰式は、令和7年3月13日(木)、木材会館(東京都江東区新木場)7階大ホールにおいて開催されました。

農林水産大臣賞を受賞したグリーンウッドタクミ協同組合の浦田代表理事からは、「我々のような中規模の製材工場の受賞が、他の中小工場の励みになることを期待するとともに、今後も木材の普及に取り組んでまいります」との謝辞が述べられました。